

道の駅への期待

東京都市大学特別教授 涌井史郎氏

道の駅はとても優れた制度だ
と思います。普段なら目的地向か
つて一直線に走り、途中を通過
してしまうのが「道」ですが、道
の駅は途中にある一つの地域を
楽しみながら人々を留めること
が出来る施設です。「走って」「
休む」。休みながらその地域の
ことを知ることが出来るのです。

農産物や酒類など地域ならではの
地場産品が直接手に入り、見て
触れられるのは楽しい空間です。
購買によって地域経済を支える
だけでなく、地域情報を発信す
る重要な場所でもあり、今や鉄
道駅よりも道の駅が地域情報発
信の機能を実装していると感じ
ています。鉄道の駅中ではどこ
でも同じモノが手に入りますが、
道の駅はそこでしょうか手に入
らないモノが多い、という点が
明確な違いです。

私たちは道の駅で単に商品を購入
しているかと思いがちですが、
実は地域の個性を購入している
のです。こうした機能を持

道の駅の進化が「未来を支える」



つ道の駅で、地域の自然特性
を知ることができ、それを通
じて防災・減災・克災の災害
3要素に気づきを与える機能
を道の駅が備えれば、とても
意義深いことです。もちろん
災害発生時に道の駅が果たす
物理的な役割、機能をきちんと
と磨き上げることも重要で、
今後の道の駅に求められる大
事な点です。

IT化の急速な進展、情報
ネットワークの浸透とともに
に、テレワークをはじめワー
クスタイルも急速に変化する
でしょう。そうなるとう仕事場
のフリーアドレス化が進み自
然に囲まれた絶好の場所、

新たな機能「ローカル・ハブ」

機能が加わることが期待され
ます。道の駅にワークステー
ションがあるだけでも全然違
う環境になるのです。

お気に入りの道の駅で仕事
が可能になれば、道の駅の拠
点性はますます高まります。
ローカル・ハブとして立ち寄
る道の駅で、過去の災害の情
報が目に入れば、日常の構え
にも大きな影響をもたらすこ
とでしょう。

道の駅は、これからのクリ
エーションビジネスやワーク
スタイルを支える機能や可能
性を秘めています。道の駅の
進化が「未来を支える」。そ
こに期待しています。

クリエイティブ
イーに溢れた仕事
が出来るようにな
ります。

そんな時代に
は、道の駅に「情
報のハブ」「ロー
カル・ハブ」とい
う、さらに新たな